
side-C

THE料理人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

side - C

【Nコード】

N9432Y

【作者名】

THE料理人

【あらすじ】

格ゲー、FPS、レース、、、

様々なジャンルでプロゲーマーがいる世界

戦略シミュレーションのプロゲーマーの少年のお話

日常

「デッシー、今日カラオケいかねー？」

HRが終わった直後に後ろから声をかけられた。振り向きながら小
学校からの腐れ縁に向け現実を突き付けた。

「中間の結果が渡ったばっかだつてのによく行く気になるな、確か
赤点すれすれじゃなかったか？」

「だから行くんだよ！おれのシャバでの生活は今日が最後だ」

どうやら覚悟はとつくにしませているらしい、あるいは現実逃避か。

「テストなんて少し真面目に授業きいてれば余裕だろ」

「これだからできるやつは・・・それよりどうするんだ？」

「答えわかって聞いてんだろ、俺は聞く専だ。それに今日は用事が
ある。」

「いつからこんな真面目なガリ勉君になってしまったんだか、親友
は悲しいぞ」

おお神よとでもいいそうな大袈裟なポーズを取りながら廊下にてで
いじつとする。

「クロ」

「おつ、行く気になってくれたか？」

「またな」

「つちえ」

(さて、俺も帰るか・・・)

携帯端末で対戦相手たちの情報をあさりながら帰宅する。

今回は堅実なスタンダードタイプがほとんどのようだ、初期のラッシュを得意とする戦争屋が一人いるようだが動画で確認したところ特別対策するほどのレベルではない。

部屋に帰りそのまま資料を読みふける・・・

そうしているうちにアラームの甲高い音が鳴った

(そろそろか・・・)

慣れた手つきでティーポッドでコーヒーをいれて菓子と一緒にPCの前に持っていく

食べながらゲームにログインし手続きを終え、開始のブザーが鳴るまで目をつむる。

電子音が鳴った

目を開けると画面が移り変わっついて自分だけの国が現れている

(さあ、勝負だ)

高速でタイピングし、エンターと同時に一言

「
お願いします」

本名 井手 司人 (いで しいと)

I D s i d e - c

階級 中将

職業 学生 プログーマー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9432y/>

side-C

2011年11月28日02時54分発行